

♪ 池田クリニック通信 ♪

～フットケア・検査について～



日々、秋の気配が色濃くなってきましたが今月は透析患者さんの足についてです。

クリニックでは月に1回フットチェックを行っています。

足は第二の心臓とも言います。透析患者が長期になると血管の石灰化が進み、それが顕著に表れるのが心臓から一番遠い足です。石灰化により血管が細くなったり硬くなったりすると足先まで十分に血液が送れなくなってしまいます。血液が送れないという事は栄養も届かない。傷が出来ても治る為の栄養が届かず治りにくくなります。

傷を作らない為にも日頃からの観察が大切です。

当院では、フットチェック以外に足の血流や血管の硬さをみる検査も定期的に行っています。

《当院でできる検査には》

☆ABI検査・・・腕と足の血圧を測り、その比を出すことで虚血の度合いを測定します。通常は足のほうが1、2割ほど高くなるのに対し、足の虚血の場合、このABIの数値が徐々に下がります。数値が0.9を下回ると、どこかに大きな狭窄があるか閉塞が起きている可能性があります。

透析患者のABI（足関節上腕血圧比）基準値は以下の通りです：

正常範囲: $0.9 < \text{ABI} < 1.4$

ABI ≤ 0.9 : 末梢動脈疾患の疑い

ABI ≥ 1.4 : 石灰化の疑い

透析の方は、末梢や石灰化の問題があるためにABI検査のみでは分からない場合があります。より末梢の微小循環を調べるために、SPP検査が必要になります。

☆SPP・・・(skin perfusion pressure)は皮膚表面から1-2mm程度の深さにある毛細血管の血流がどのぐらいの圧で流れているかを調べる検査。正常値は80mmHg前後で、50mmHg以下の場合PADが疑われます。

さらに40mmHg以下では、傷が完治するのが困難といわれています。



当院では、患者さんにいつまでも御自分の足で歩いていただくために足の観察を行い異常の早期発見・予防に努めています。ご不明な点や気になる事があれば遠慮なくスタッフまでお問合せ下さい。

